

【資料 2 - 3】

平成 28 年度 第一回 住みよいまちづくり部会報告

平成 28 年 7 月 25 日 (月) 14:00 ~ 15:30

さいわい福祉センター 会議室

□ 資料確認

<障害福祉課>

自立支援協議会の住みよいまちづくり部会は今年度で 3 期目となる。これまで通り部会長、副部会長を引き続きお願いしたいがよろしいか。

⇒ 全員承認

【部会長】

この部会の委員構成は、保健所の課長が代わり、他は昨年同様のメンバー。自立支援協議会は、会長・めるくまーる・身障協・保健所が代わった。

1 市報コラムについて

<障害福祉課>

資料の市報コラム切り抜き提示、4 月 1 日号より掲載を始めている。1 回目：身障協・2 回目：清瀬特支 P T A ・3 回目：手をつなぐ親の会・4 回目（8 月）：ろうあ協会。年度後半の原稿依頼を行っており、引き続き 1 年間続ける。

反響：一般市民・当事者からご意見等をいただき、読んでいただいていると感じる。

これまで市報にこのような形で市民の記事を載せたことはなかったが、広報課も力を入れてくれている。

【意見】市民の意見はどのようなものであったか？

<障害福祉課>

「この記事の内容は市としての考えなのか？」という問い合わせがあった。当事者の意見と回答。また、「表現が気になる」「記事を書いた人に外国の法律等をもっと勉強するように」といった意見もあった。

【意見】

- ・震災のあった熊本の様子を見てきたが、仮設住宅は車椅子に配慮のない造りであった、熊本に大きな地震が来るとは思っていなかったとのこと。仮設住宅は生木が使われており、1 週間でカビが生えてしまい、衛生上よくない。高齢者も同様に配慮が必要と感じた。
- ・コラムの 3 回目のように見出しに線を入れる、または、記事を囲む、カットを入れる等工夫ができればよい。

2 障害・難病等啓発事業補助金について

<障害福祉課>

これまで難病が対象であったが、障害も加えるとともに団体が行う事業を対象とした。予算は1事業5万円×6団体＝総額30万円。申請が少なかった場合、1団体2事業もその限りではないとしたいが意見を聴きたい。また、参加費をいただく事業も認めたいと考えている。応募状況は、現時点で3事業、他3月開催予定の「親の会」。

【意見】これは国の事業なのか？

<障害福祉課>

地域生活支援事業で、国から1/2、都から1/4

【意見】5万円上限だが、アップはできるか。

<障害福祉課>

今年度は1事業5万円、総額30万円なので難しい。応募があった事業に均等に分けるなど、今後相談したい。市の補助事業は厳しい状況にあるので、予算の増額は難しいが、自立支援協議会で効果をチェックしてもらい、毎年度振り返りをして行きたい。当面は補助金事業として続けていく予定だが、制度の細部については毎年度見直し、要綱に反映したい。

【意見】毎年継続するのか？

<障害福祉課>

大きな見直しは5年をめぐりに考えている。

【意見】毎年申請できるのか？

<障害福祉課>

できるが、10年～20年後は未定、例えば総額30万円で大きなイベントを行う等も考えられる。今後、精神・知的・身体・難病の各事業が競合する場合は、配慮が必要になるかもしれない。

【意見】5年を目安として効果を確認し、発展的になるよう自立支援協議会で検討していく。

3 市民への啓発・周知活動（ちらし・ポスター）について

<障害福祉課>

市報12月1日号に折り込み予定、ちらし・ポスター掲載内容について意見を聴きたい。

【意見交換】

「障害者差別解消法」「合理的配慮」は難しく硬いイメージになるので、「障害者が住みよいまちづくりにご協力ください」のような表現を巻頭に使い、わかりやすいイラストを入れるとよいのではないか。

◇ 次回部会までに今日の意見を踏まえ素案を作成

4 その他

「施設代表者会」を開催する。テーマは協議会で検討された計画相談支援について。また、市民から「各事業者が販売している物を教えてほしい」「見学に行きたい」等問い合わせがあり、市のHPにリンクを貼り付け各事業所のHPを見ることができないか考えている。利用者の工賃アップに繋がることができるかもしれない。

次回部会：8月29日（月）14：00～ さいわい福祉センター 会議室

議題：1 市民への啓発・周知活動（ちらし・ポスター）について

2 災害について 予定